

皆さまのお支えに、
心より感謝致しております

この度、総務副大臣を拝命しました。

2010年7月初当選以来、徳島県および高知県の皆さまはじめ、全国多くの皆さまに長らくお支え頂いているお陰さまです。心より感謝申し上げます。

この間、“現地現場主義”を貫いてきました。

「物事の本質は、常に現場にあり」という松下幸之助翁の教えを胸に、お会いしたすべての皆さまとのご縁をこれからも大切に紡がせて頂きたいと存じます。

大好きな我ら故郷から、日本の将来を創り上げる大きな志を皆さまと共に前へ、進めて参ります。

今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

参議院議員 中西祐介



▲2007年4月7日。当時27歳、銀行員を退職し、退路を断つ。
“地盤・看板・カバン”がなくとも、「志」を持参せよ——。
一念発起、政治家を志し、松下政経塾の門をたたく。
人類の繁栄と幸福を説いた、松下幸之助塾主の普遍的な理想をこれからも追い求めていきたい。

中西祐介 プロフィール

YUSUKE NAKANISHI'S PROFILE



職歴

(株)UFJ銀行(現三菱UFJ銀行)
(財)松下政経塾第28期生 卒塾

略歴

- 2010年 7月: 参議院議員初当選【徳島選挙区】 142,763票
- 2012年 10月: 参議院自由民主党政策審議会 副会長
- 2014年 9月: 参議院自由民主党 副幹事長
- 2014年 9月: 自由民主党青年局 局長代理
- 2015年 10月: 財務大臣政務官(第3次安倍改造内閣)
- 2016年 7月: 参議院議員当選【徳島・高知選挙区】 305,688票
- 2016年 8月: 自由民主党水産部会 部会長
- 2017年 9月: 自由民主党政務調査会 副会長
- 2018年 11月: 参議院総務委員会 答頭理事
- 2019年 10月: 参議院財政金融委員会 委員長
- 2020年 9月: 参議院自由民主党 国会対策委員会 答頭副委員長
- 2021年10・11月: 総務副大臣(第一次・第二次岸田内閣)

中西 祐介

■誕生日: 1979年7月12日
■出生地: 徳島県阿南市
■血液型: O型
■特技: グライダー、料理、SUP
■ポリシー: 天命に生きる

中西祐介事務所

東京事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館622号室
Tel.03-6550-0622 Fax.03-6551-0622
✉yuusuke_nakanishi01@sangiin.go.jp

徳島事務所
自由民主党徳島県参議院選挙区第二支部
〒770-8056 徳島県徳島市問屋町31番地
Tel.088-655-8852 Fax.088-655-8853
✉yuusuke-nakanishi@nifty.com

高知事務所
〒780-0861
高知県高知市升形1-21自民会館
✉kochi@yuusuke-nakanishi.info

“読む、中西祐介 JOURNAL/Y” バックナンバーのお問い合わせはHPもしくは事務所までご連絡ください。

詳しい情報は
ホームページへ

<https://yuusuke-nakanishi.info>



読む、中西祐介 JOURNAL/Y 特別記念号



読む、中西祐介 JOURNAL/Y

特別記念号

“日に新たに”に躍動する 徳島県・高知県 参議院議員 中西祐介 情報誌 / ジャーナル ワイ / Create our new age and make each day a-new



2021年10月。

日頃より皆さまから温かいお気持ちを頂き感謝致しております。

“素志貫徹”、職務に全力で取り組んで参ります。

第100代・101代岸田文雄内閣 総務副大臣
史上最年少(42歳3ヶ月)での抜擢。
徳島県、また高知県選出の参議院議員として、
初の副大臣登用。

2021年10月6日、15時半。令和の
『即位の礼』が執り行われた皇居正殿・
松の間にて、「認証官任命式」に臨む。
副大臣の辞令書には、内閣印に加え、
第126代 徳仁 今上陛下より御璽
(ぎょじ)が押印されている。頂いたお言葉
を胸に、重責に精励致して参りたい。



公式Facebookはこちらでご覧頂けます ▶▶ <https://www.facebook.com/183016952047014/>

<https://yuusuke-nakanishi.info>



Q 副大臣として、どんなビジョンを描きますか？

(中西) 総務省は、守りと攻め、“安心と可能性を創る”省庁だと思います。地域行政を二人三脚でバックアップし、同時に情報通信やデジタル分野では、世界の最先端を走れます。地域の声を大切にしながら、あらゆる可能性に挑戦したいです。

Q 徳島県や高知県と、総務省の公務。相乗効果を期待します。

(中西) はい、私も期待しています。地方創生のトップランナーであり、全国にとどろく好事例をいくつも一緒に発出してきました。日頃より両県を走らせて頂いているご縁の強みを生かし、公務に全力を傾注したいです。

Q 岸田内閣の一員として、政権構想を教えてください。

(中西) コロナ禍の収束とその後、を担う非常に重要な内閣です。特に私の担務と重なる、デジタル庁の展開、来年に基本法の提出も検討される経済安全保障、さらには政権の目玉である“デジタル田園都市国家構想”など、我が国の飛躍発展のため、成長と分配の好循環を作るよう、全力を挙げたいです。



▲2021年10月6日、首相官邸にて岸田文雄総理を囲み、副大臣で記念撮影。

Q 総務副大臣の大役を受けられた、今のお気持ちは？

(中西) 天皇陛下より認証を頂き、ただただ気が引き締まる思いです。同時に、初当選以来、地域活性化や地方創生に地元の皆さんと一緒に取り組んできました。総務省という一番国民生活に近くて幅広い分野を所管することになり、本当にやりがいを感じています。

Q コロナ禍のあとを見据えた社会に夢を描いてください。

(中西) 痛感したのは、人と人の温かいつながりが大切ということです。一人ひとり違う課題や人との関係性、社会へのアクセスということが、新しい技術と共に、深く結びつくことが出来る社会づくりを目指さなくては。それらが活力を生み、可能性を創り出す基礎になります。

Q 公務でお忙しい時は、どのようにリラックスしますか？

(中西) 結構ハマっているのが、料理。家族に喜ばれるのが、得意のアッパツア。魚や肉、野菜は、徳島と高知の地のもんが一番です。東京では、スーパーのタイムセールで売ってる魚貝を使ったシーフードカレーはスパイスから作る自信作です。



▲おかげ様で娘も4歳になりました。作るのも、食べるのも大好きです。

Q 来夏、参議院議員選挙の改選を控えられますが、意気込みを。

(中西) ありがとうございます。参議院議員として12年、全力で走って参りました。徳島県や高知県の皆さんには、いつも励まし、またご指導頂き、心から感謝致しております。ただひたすらに熱い“地域愛”を胸に、皆さんと共に多くの成果を挙げる年にさせて頂きたいと存じます。



▲2021年10月7日、金子恭之総務大臣を囲んで。左から、鳩山政務官、中西、金子大臣、田畑副大臣、渡辺政務官、三浦政務官。

”政策力”で、勝負する。

中西祐介が事務局の中心で取りまとめた、主な政策集一覧



『参議院自由民主党国会対策委員会活動手引き 令和3年6月1日版』

2021年6月発刊。全231ページ。国会運営の要である“国対”的暗黙知を整理し、立法府での議員立法活動の手助けをする、憲政史上初の手引き書。筆頭副委員長として、議員や職員の皆さまの叡智を結集し、取りまとめ。本会議や委員会、立法手続きなど55項目を分かりやすく解説。



『志公会政策提言2021 DX×SX』

2021年4月発刊。全147ページ。2030年への羅針盤として57項目の提言。デジタルの導入と活用による社会変革を実現するDX(デジタルトランスフォーメーション)と、社会と経済・生活の持続性を念頭に置いた技術革新を目指すSX(ステナビティトランスフォーメーション)を切り口に、ポストコロナ時代を見据えて、変化に柔軟に対応できる社会構造の変革を訴える。



『志公会政策提言2020 「変化に対応できるしなやかさ×変化を創り出したたかさ」』

2020年4月発刊。全97ページ。コロナ禍の社会変化を踏まえ、国家戦略としてのしなやかさ、外交戦略としてのたたかさを、政策面から立案。活力ある健康長寿社会の実現のための社会保障制度改革案、デジタルデータ駆動型社会の実装及び経済安全保障体制の確立を、80項目に渡り指し示した。



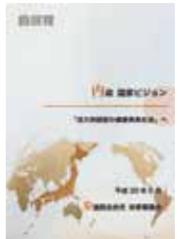
『令和新時代 社会保障制度改革案 “活力ある健康長寿社会” 実現のための諸施策53』

2020年4月発刊。全52ページ。コロナ禍で露見した、医療や国民生活の脆弱性や課題を53の論点で改革案を提示。社会保障制度改革の抜本案は、予算委員会質疑でも厚労大臣をはじめ話題を呼んだ。



『外交国家ビジョン 新時代の「多次元統合型安全保障」』

2018年5月発刊。全26ページ。ポスト冷戦後や、自由民主主義陣営に対抗する権威専制主義等の国際情勢を踏まえ、重層的な外交、国際機関への邦人活躍の促進、サイバーセキュリティの強化、海洋安全保障や産業・経済分野でのルールメーク等、先進的な提言。



『内政国家ビジョン 「活力持続型の健康長寿社会」へ』

2018年5月発刊。全58ページ。戦後の社会保障モデルケースを現実に則してどのような変革を行えるかを問うた提言。健康長寿、社会参加率、価値創造社会、持続可能性をフィルターに焦点を当て、次代の国家ビジョンを指し示した提言。